

第1回 次世代型太陽電池の導入及び産業競争力強化に向けた官民協議会 齋藤健経済産業大臣 挨拶全文

本日はお忙しい中、大変多くの関係者の皆様にお集まりいただきありがとうございます。経済産業大臣の齋藤健です。

次世代型太陽電池の官民協議会の開催に当たり、一言申し上げます。

私は、エネルギー政策は今まさに、戦後最大とも言える難所に差しかかっているとの強い危機感を覚えています。今後の国際的な産業競争力は、これまで以上にエネルギーが左右する時代に突入し、しかも技術などの面で不確実性が高い状況の下で、再生可能エネルギーをはじめとする脱炭素エネルギーへの転換を加速化させることが求められています。

本協議会で取り上げる次世代型太陽電池、ペロブスカイトは、我が国が総力を挙げて取り組んでいかなければならない極めて重要な分野です。

太陽光発電は、2012年の再エネ特措法施行以降、導入拡大が進みましたが、近年地域共生上の課題も顕在化し、地上設置の適地の制約が生じています。

また、太陽光パネルは、その多くを海外からの輸入に頼っているのが実情です。

こういった状況を打破し、我が国の再エネのさらなる導入拡大と産業競争力強化を実現するためには、ペロブスカイト太陽電池の社会実装が成功するかどうかを鍵を握っていると言っても過言ではありません。軽量で柔軟という特徴は、再エネの導入可能性を大きく広げます。しかも主要な原材料のヨウ素は、日本で産出できる貴重な資源で、特定国に依存しない強靱なサプライチェーンの構築が可能となります。

これまで、グリーンイノベーション基金などを通じて技術開発を進めてきましたが、その一つ一つの積み重ねが実を結び、市場投入が目の前に来ています。

本協議会では、有識者、太陽電池メーカー、空港、鉄道、原材料、建設、不動産などの関係業界団体、再エネ導入に積極的に取り組まれている自治体など、多くの幅広い官民の関係者にお集まりいただきました。皆様のお力をお借りし、産学官の英知を結集し、かつてシリコン型太陽電池で日本が競争力を失った過去の反省も踏まえ、大胆かつたかな次世代型太陽電池戦略を練り上げる必要があります。ご協力をぜひともよろしくお願いいたします。

その戦略を通じ、世界に引けを取らない規模とスピードの投資を官民で実現し、世界に先駆け、社会実装を進め、海外へと展開し、世界に誇れる産業として羽ばたかせましょう。政府としても、必要な支援を躊躇なく行います。

本協議会が次世代型太陽電池、ひいては我が国のGXの取組をリードできるものとなることを期待し、私の挨拶といたします。ありがとうございました。